

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	U I J ターンつながり創出事業
事業主体 (連絡先)	上伊那広域連合 伊那市荒井 3500-1 いなっせ 3階
事業区分	②リニア中央新幹線の開業を見据えた移住・定住の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,726,295 円 (うち支援金: 1,497,000 円)

### 事業内容

若者のU I J ターンや移住者の働く場を確保するため、上伊那地域の企業と市町村が連携する事業の実施や、企業と市町村が連携を促進する役割を広域連合として実施した。

- ・かみいなシゴトフェス in Tokyo (10/19)



【セミナーの様子】

### 【目標・ねらい】

- ①若者人材の確保
- ②上伊那地域の働く場の認知度向上
- ③産学官を巻き込んだ取り組み
- ④地域の価値を高める

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①長野県主催の6月23日、29日のインターンシップフェア、8月8日、9日開催の就活準備合宿と繋げて、東京でセミナーを開催することをPRした。
- ②10月19日のセミナーに来場した方に12月に開催するセミナーにも繋がるよう、広報や案内をした。
- ③10月開催のセミナーに来場した移住希望者が、上伊那地域の企業とのマッチングが成立した。令和2年4月よりの中途採用の実績ができた。

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

- ・実施したことにより、マッチングが成立した。
- ・上伊那地域独自の取り組みとして、夏～秋～冬と若者人材の確保、働く場の紹介を継続してできた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・人口減少は解消されにくい状態ではあるが、若者に対して早い段階から継続して魅力的な企業が上伊那にあることをアプローチしていくことが必要。またU I J ターン希望者にも、働く場所が上伊那地域にあるという情報を発信し続けることにより、若年層を含めた移住定住の推進に向け取り組んでいく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある